

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 オーストラリアの貿易統計において、1960年時点で輸出額の約3割を占めて最大だった国と、2013年時点で約27%を占めて最大となっている国を正しく組み合わせたものはどれですか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 1960年：イギリス、2013年：中国
2. 1960年：アメリカ合衆国、2013年：日本
3. 1960年：イギリス、2013年：インド
4. 1960年：日本、2013年：アメリカ合衆国

問2 オーストラリア大陸の内陸部、アリススプリングスの近郊に位置する「ウルル（エアーズロック）」に関する説明として正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 先住民であるアボリジニの聖地として知られている。
2. ニューージーランドの先住民であるマオリが儀式を行う場所である。
3. 寒冷な気候に適応したイヌイットが生活の拠点とした岩山である。
4. スペイン語を話すヒスパニックの入植によって開拓された聖地である。

問3 オーストラリアでは茶の生産はあまり行われていませんが、日常生活の中で紅茶を好んで飲む文化が広く定着しています。このように、オーストラリアの食文化に大きな影響を与え、かつてこの地を植民地として支配していた国はどこですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. イギリス
2. フランス
3. アメリカ合衆国
4. オランダ

問4 オーストラリア大陸に古くから居住している先住民で、地面に置いたキャンバスに細かな点を用いて描く独自の芸術文化を継承している人々を何といいますか。（2023年 北海道公立入試 類似）

1. アボリジニ
2. マオリ
3. イヌイット
4. アイヌ

問5 近代的な高層住宅が立ち並ぶ景観のすぐ隣に、ゲルなどの伝統的な組み立て式テントが密集した居住地区が広がるなど、発展途上国の都市部で生じている現象とその背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. 社会の変化にともない、もともと遊牧などの移動生活を送っていた人々が都市部へ流入して人口が集中したが、住宅供給が追いつかずスラムが形成されている。
2. 政府による工業化政策の結果、都市部に定住する人々が増加し、伝統的な住居を観光資源として保存する計画的な街づくりが行われている。
3. 農業の機械化によって労働力が不足したため、周辺諸国から遊牧民を労働者として受け入れるための仮設住宅が都市近郊に建設されている。
4. 先進国からの技術援助によって都市化が進んだことで、伝統的な生活を維持しながら高度な情報通信設備を利用する新しい生活形態が普及している。

問6 ブラジルの発電電力量の内訳について、水力が64.1%と大半を占める一方で、生物資源を原料とするエネルギーも8.7%利用されています。また、ブラジルではサトウキビの生産量が砂糖の生産量を大きく上回るペースで増加していますが、その主な背景として適切なものはどれですか。（2022年 山口公立入試 類似）

1. 自動車の燃料などに利用されるバイオエタノールの原料としての需要が高まったため
2. サトウキビをそのまま燃焼させて直接電力を得る地熱発電の技術が普及したため
3. 家畜の飼料として輸出するためのサトウキビ栽培が、砂糖用よりも収益性が高くなったため
4. サトウキビの絞りかすを加工して、風力発電のプロペラ部分を作る材料にするため

問7 ある国について、人口が約3815万人で、1平方キロメートルあたりの人口密度が約4人と極めて低いという特徴があります。また、日本への主な輸出品目として、なたねが10.4%、鉄鉱石が9.2%、豚肉が8.4%を占めているこの国はどこですか。（2024年 高知公立入試 類似）

1. オーストラリア
2. カナダ
3. ブラジル
4. ロシア

問8 南アメリカ州のブラジルでは、世界的な需要の高まりに応えるために畜産業が盛んに行われていますが、これに伴う環境への影響が議論されています。生産されている家畜と、それに関連して発生している課題の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採
2. 豚：冷涼な気候に適応させるための森林の伐採
3. 羊：乾燥地での過放牧による砂漠化の進行
4. ヤギ：高地での飼育に伴う土壌浸食の発生

答え合わせ・解説

| | | |
|----|--|--|
| 問1 | 答え 1 1960年：イギリス、2013年：中国 | オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年代までは宗主国であるイギリスとの貿易が中心でした。しかし、その後イギリスがヨーロッパの経済統合（ECへの加盟）を優先したことや、アジア諸国の経済発展に伴い、貿易相手はアジアへと移行しました。現在では、鉄鉱石や石炭などの資源を大量に輸出している中国が最大の貿易相手国となっています。 |
| 問2 | 答え 1 先住民であるアボリジニの聖地として知られている。 | オーストラリア大陸のほぼ中央に位置するウルル（エアーズロック）は、世界最大級の一枚岩であり、先住民アボリジニの聖地となっています。現在は、アボリジニの意向を尊重して登山が禁止されるなど、彼らの文化や信仰を守る取り組みが行われています。 |
| 問3 | 答え 1 イギリス | オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となった歴史があり、その過程で多くのイギリス系移民が移り住みました。そのため、言語（英語）や政治制度だけでなく、紅茶を飲む習慣やスポーツ（クリケットなど）といった生活文化の面でも、宗主国であるイギリスの影響を強く受けています。 |
| 問4 | 答え 1 アボリジニ | オーストラリア大陸の先住民はアボリジニと呼ばれます。彼らは自然界の万物に精霊が宿るという独自の信仰を持ち、砂絵や岩壁画、そして点描（ドット・ペインティング）などの伝統芸術を現代に伝えています。ニュージーランドの先住民であるマオリと混同しないよう注意が必要です。 |
| 問5 | 答え 1 社会の変化にともない、もともと遊牧などの移動生活を送っていた人々が都市部へ流入して人口が集中したが、住宅供給が追いつかずスラムが形成されている。 | 発展途上国では、経済成長や社会構造の変化により、農村部や遊牧地から都市部へと急激に人口が移動する「都市化」が進んでいます。しかし、都市側のインフラ整備や住宅供給がそのスピードに追いつかないため、流入した人々が居住環境の不十分な場所に伝統的な住居や簡易的な小屋を建てて住み着くことで、スラムが形成されるという課題が生じています。選択肢にある「工業化」や「定住」は、この現象の直接的な結果や背景の説明としては不適切です。 |
| 問6 | 答え 1 自動車の燃料などに利用されるバイオエタノールの原料としての需要が高まったため | ブラジルでは豊富な水資源を利用した水力発電が主流ですが、同時にサトウキビなどの生物資源を原料とするエネルギー活用も盛んです。サトウキビは食用の砂糖の原料になるだけでなく、発酵させてバイオエタノールという燃料に加工されます。これが自動車の燃料や発電に利用されるようになったため、サトウキビの生産量は砂糖の生産を上回るペースで増加しています。このように生物資源を源とするエネルギーは再生可能エネルギーの一つとして重要視されています。 |
| 問7 | 答え 1 オーストラリア | 広大な国土に対して人口が比較的小さいため、人口密度が1平方キロメートルあたり4人と非常に低くなっているのが特徴です。豊かな鉱産資源や、広大な土地を活用した農畜産業が盛んで、日本へは鉄鉱石やなたね、豚肉などを多く輸出しています。 |
| 問8 | 答え 1 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採 | ブラジルにおける開発と環境保護の対立は、地理学習において非常に重要なテーマです。世界第2位の生産量を誇る「牛」の生産を支えるため、もともと森林であった場所が「牧場」へと作り替えられており、これが「熱帯林の減少」の直接的な原因となっています。選択肢にある豚や羊、ヤギは、ブラジルの森林減少における主因とはなっていません。 |